室内ドア用錠　取扱説明書

7273161

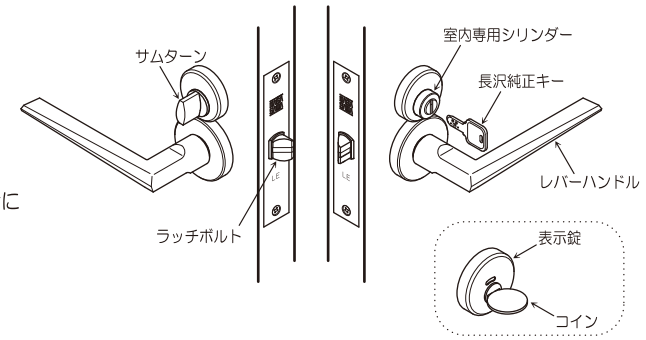
NAGASAWA 製品をご採用いただき、ありがとうございます。
製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。お読みになられた後は、いつでも見られる場所に保管してください。

取り付けは正しく

① 製品本来の性能を守る為に、扉への切り欠き加工や製品の取り付けは、同梱の取付説明書にそって正しくおこなってください。
指定外の切り欠き加工をおこなうと、錠本体が破損することがあります。
② 取り付けは、同梱のねじを使用してください。
③ 手動ドライバーで取り付けてください。電動ドライバーは使用しないでください。ねじ頭が破損したり、締めすぎによる作動不良の原因となります。
④ 重いドアへの取り付けや、強力なドアクローザー付きのドアでの使用はおやめください。錠に過大な負担がかかり、故障や破損の原因となります。

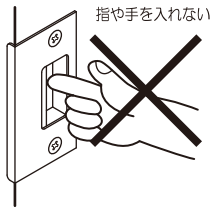
基本の使い方

① 施錠するときはサムターンは最後まで回し、キーはシリンダーの奥まで
差し込んでから回します。レバーハンドルやノブを操作して、施錠されて
いることを確認してください。
② 非常の場合、間仕切錠，表示錠ではコインを室外側のプラグの溝に入れて回すと
解錠できます。
③ 扉の垂れ下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など、異常がありましたら専門の業者に
ご相談ください。



危険防止のために

① レバーハンドルやノブにぶらさがったり、足場にしたり、物をかけたりしないでください。ケガをすることがあります。
② レバーハンドルやノブ、錠のラッチボルトにぶつからないようにしてください。ケガや転倒をすることがあります。
③ レバーハンドルや座の意匠上のスペース（すき間）、受座の穴に、指や手をいれないでください。指を切るなどの
ケガをする場合があります。



取扱上の注意

① キーを施解錠以外に使用しないでください、キーに曲がりやキズができると、施解錠ができなくなる原因となります。
② キー穴に油や異物（紙、布、針金、接着剤など）を入れないでください。故障の原因となります。
③ キーは長沢純正キーをご使用ください。複製キーの使用は、キーの抜き差しや回転操作が鈍くなったり、シリンダーの耐久性を短くする場合があります。
④ デッドボルト（デッドラッチ）を突き出させた状態で、扉を閉めないでください。ケガのおそれがあるだけでなく、扉枠の損傷やデッドが変形するときがあります。
⑤ 錠の改造、分解をしないでください。中の部品が飛び出してケガをするおそれや、正しく組立てなおすことができなくなる原因となります。
⑥ キー穴や錠ケース内部に潤滑剤を使用しないでください。ほこり等が付着し、作動不良の原因となります。
⑦ レバーハンドルや座などにキズをつけないでください。錆や腐食の原因となります。
⑧ 両開き扉など、片方の扉のハンドルが固定されているものがありますので、無理な力で開けないでください。
⑨ 枠側（両開き扉の場合は片方の扉）に取り付けてある受座のリップの飛び出しが大きい場合は、取付業者に依頼して、適正な受座に取り替えてください。身体を
キズつけたり、衣服を引っ掛けるおそれがあります。
⑩ レバーハンドルを下げきらないうちにドアを強く引く等の使用はおやめください。錠の破損の原因となります。
⑪ レバーハンドルやノブにぶらさがったり、足場にしたり、物をかけたりしないでください。錠やレバーハンドルの変形や損傷の原因になります。

長くご使用いただくために、お手入れ方法

① 表面は、柔らかい布でからぶきしてください。水はかけないでください。汚れのひどい場合は、薄めた家庭用中性洗剤で拭き、それ以外の化学薬品は使用しない
でください。
② 錠，受座，レバーハンドルなどの取り付けねじがゆるんできたら、ねじの増し締めをしてください。そのまま使い続けると、製品本来の機能と耐久性が維持でき
なくなったり、故障や破損の原因となります。
③ キーの抜き差しや回転操作が鈍くなったら、黒鉛粉または鉛筆（柔らかい芯：B，2B 程度）の粉をキー穴に入れてください。さらにキーの切り込み面を鉛筆で
なぞった後、キーをシリンダーに入れ、抜き差しを数回おこなってください。作業後、キーとキー穴に付着している黒鉛粉は、柔らかい布等で拭き取ってください。

ご理解ください

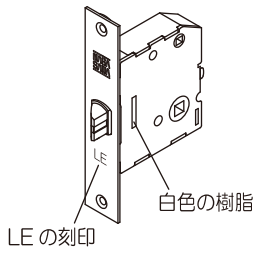
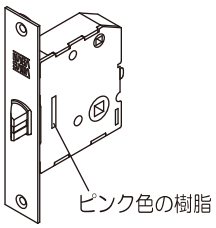
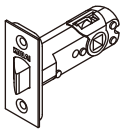
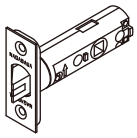
ていねいにお使いいただき、適切なお手入れをしていただいても、製品には性能維持の限界があります。
長沢製室内ドア用錠の保証期間は、1年です。ただし、扉の使用頻度、使用環境によっては、保証期間内でも保証されない場合があります。製品の能力を超えたご使用は、故障や事故につながります。
製品を安全にお使いいただくためにも、定期的な点検をおこない、使用中に異常を感じたら早めに、ご購入いただいた販売店または下記営業所へご相談ください。

室内ドア用錠の性能と特徴

長沢製の室内ドア用錠には、箱錠と、チューブラ錠があります。
各錠の性能と特徴を正しく理解していただき、製品を安全にお使いください。

箱錠のお勧め

製品を安心してご使用いただくために、トイレ等の錠の故障が事故につながる場所、及び、使用頻度の高い場所には、耐久性に優れた箱錠をお勧め致します。
正しく取り付けをおこない、ていねいにご使用いただき、末永いご愛顧をお願い致します。

錠	箱　錠		チューブラ錠	
名称	LE 錠	LG 錠 （操作角 10 度：ショートストローク錠）	TL 錠	TX 錠
特徴	耐食性に優れた亜鉛鋼板を使用 耐久性が高く、室内錠としておすすめする錠		取り付け加工が簡単です 箱錠に比べると耐久性が低い	
外観図				
取付対象扉	軽量 ・ 普通 （25 kg以下）（40 kg以下）		軽量	
用途	一般住宅・事務所・店舗等の室内 （トイレ）		一般住宅の室内 （不特定多数が使用する所には使用しないでください）	
錠本体の製法	亜鉛鋼板のプレス成型		亜鉛合金のダイキャスト	
開閉試験	40 万回		20 万回	
ハンドルのねじり試験	35Nm		15Nm	
ラッチボルトの側圧試験	3000N		2000N	

JIS 規格に基づく自社試験データ（性能の保証値ではありません）